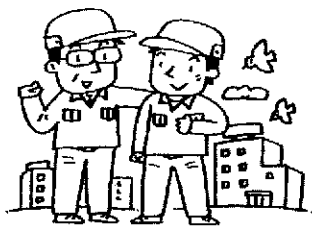


# なぜ多くの若者が職場をやめなければならないのでしょうか？



神鋼では、本年度より、IDカードによる時間管理や、QC活動を労働時間として扱うなど、労働時間の透明性を高めています。その一方で、QC活動の結果を「個人評価」へ反映させたり、作業の様子を「気づきカメラ」を使って監視しようとしています。

これらのシステムは、働く人の管理、監視に使うのではなく、働く人の真に自主的な活動や管理に委ねるべきです。

そうすれば、安全なものづくりに

「パワーハラスメント」自由にもが言えないような硬直化した職場では、ものづくりでの協働や、危険な作業で命を守り合う、互いの関係も壊されてしまいます。問題となっている「パワーハラスメント」も生まれがちです。

6月の就労に関する委員会で会社も認めている通り、神鋼全体の「パワーハラスメント」の相談が突出して多くなっています。これは神鋼だけの問題ではなく、協力会社にも言えそうです。

加古川製鉄所では「パワーハラスメント」が多いと聞いています。自由にもが言えない職場の雰囲気、続発する重大な事故やトラブルの他、離職率の高さにも大きく影響しているのではないのでしょうか。

その一方で、神戸製鉄所では、圧延室の若者の訴えで「作業前ミーティング」が時間外労働となりました。厳しい締め付けや理不尽さに対して「おかしいと思うことにはものをいう」鉄人の気風が存在しています。

## すべての人が、生き活きと働ける職場に

# 展望

No.201  
2019.10.28.

(発行)  
日本共産党  
神戸製鋼委員会

(連絡先)  
神戸市兵庫区  
新開地3-4-20  
(電話)  
078-577-6255  
(FAX)  
078-577-2240

(メール)  
info@jcp-shinko.jp  
(ホームページ)  
http://www.jcp-shinko.jp

働く者の未来を照らす

## しんぶん赤旗

日刊 3497円  
日曜版 930円

みなさんも気づいておられるでしょうが、職場の若者がどんどん辞めています。

昨年10月から今年9月までの1年間に、基幹補2級から基幹4級までの若手社員が約130名も自己都合で辞めました。

なぜ夢を抱いて入社した若者が、こんなに多くやめなければならぬのか。それは若者の側の問題なのでしょうか？

みなさんが日頃感じておられる職場の働きづらさが、若者により重くのしかかっているのではないのでしょうか？

## 自由にもが言える職場こそものづくりの要

当たり前のことですが、生産現場では、突発のトラブルに対して、指示待ちではなく、瞬時に判断することや臨機応変に対応することが求められています。

これらの対応力は、自分なりに考え工夫する、失敗を含めた繰り返し経験によって身に付きます。若者が経験を積む大切な成長過程で、上司が「言われた通りにしろ！」「文句を言うな！」と、経験を否定する上意下達を押し付けたらどうなるでしょう。

「おかしい！」「なんで？」と感じる疑問や不合理に対して、自由にもが言えず、我慢して、ただ言われたとおりに仕事をするしかなくなります。そんな職場の雰囲気、若者から働き甲斐や目の輝きを奪っているのかもしれない。

## 「パワーハラスメント」

自由にもが言えないような硬直化した職場では、ものづくりでの協働や、危険な作業で命を守り合う、互いの関係も壊されてしまいます。問題となっている「パワーハラスメント」も生まれがちです。

6月の就労に関する委員会で会社も認めている通り、神鋼全体の「パワーハラスメント」の相談が突出して多くなっています。これは神鋼だけの問題ではなく、協力会社にも言えそうです。

加古川製鉄所では「パワーハラスメント」が多いと聞いています。自由にもが言えない職場の雰囲気、続発する重大な事故やトラブルの他、離職率の高さにも大きく影響しているのではないのでしょうか。

その一方で、神戸製鉄所では、圧延室の若者の訴えで「作業前ミーティング」が時間外労働となりました。厳しい締め付けや理不尽さに対して「おかしいと思うことにはものをいう」鉄人の気風が存在しています。

## すべての人が、生き活きと働ける職場に

神鋼では、本年度より、IDカードによる時間管理や、QC活動を労働時間として扱うなど、労働時間の透明性を高めています。その一方で、QC活動の結果を「個人評価」へ反映させたり、作業の様子を「気づきカメラ」を使って監視しようとしています。

これらのシステムは、働く人の管理、監視に使うのではなく、働く人の真に自主的な活動や管理に委ねるべきです。

そうすれば、安全なものづくりに

## 参院選 市民と野党の共闘の力を示す。改憲勢力2/3割れ、自民党単独過半数割れ

### 安倍政権の野望に打撃

自民党が憲法九条に自衛隊を書き込む「憲法改正を目指す」公約を掲げた参院選の結果は、自民、公明、維新などの改憲勢力が議席を2/3以下に減らし、自民党は過半数に届きませんでした。共産党を含む5野党・会派は、安倍政権に「改憲発議そのものをさせない」を含む13項目の「共通政策」に基づき、32の一人区で統一候補を立て、10選挙区で議席を得ました。6年前は野党の当選者は2人。市民と野党の共闘の力が、安倍政権に衝撃を与えました。

「展望」も、改憲勢力の議席を2/3以下に減らそうと訴え続けました。ご支援いただいた皆様感謝します。

### 改憲発議させない運動をさらに

安倍首相は、選挙結果を無視し、改憲推進派議員で内閣と自民党役員を固めました。改憲発議を防ぐためには、市民の運動をさらに高めることが鍵です。「専守防衛の自衛隊」を、アメリカと一緒に「海外で戦争する軍隊」に変質させないために、力を合わせましょう。

### 県知事選でも市民と野党の共闘が前進

参院選後の埼玉と岩手の県知事選挙は、野党統一候補と自・公与党候補との一騎打ちとなりました。野党共闘が推す大野氏(埼玉)、達増(たつぞ)氏(岩手)がそれぞれ勝利。さらに、11月24日投票の高知県知事選では、松本氏を統一候補に擁立しました。

### 「野党連合政権」に向けた話し合いを提案

改憲だけでなく、経済を危うくする消費税率引上げ、「全世代型社会保障」の名による負担増と給付削減の推進、日本の農・畜産業を犠牲にする日米貿易協定合意等、安倍政権の暴走は止まりません。世論調査で安倍内閣は支持率を保っていますが、支持の理由は「代わる政権が他にない」が多数で、「政策に期待」は少数です。共産党は、「市民連合」と合意した「共通政策」を基に、安倍政権に代わる野党連合政権に向けた話し合いを各野党に呼び掛け、「れいわ新選組」の山本代表、社民党の又市党首と会談しました。来る総選挙では、「共通政策」を魅力的に発展させ、野党間の不一致点を留保した野党の政権構想を有権者に示すことが必要です。「野党は共闘」から「野党は連合政権を」の機運を力合わせてつくり出しましょう。

みなさんは今の政治のトレンドを知っていますか？それは「市民と野党の共闘」そして「野党連合政権」です。これまでの日本共産党を含む野党の選挙協力が、政権をとってみんなが望む政治を実現しようという「野党連合」に進化しようとしています。

### みんなの投票行動が政治状況を変えた

このような新しい政治状況は、先の参議院選挙で投票所に足を運んだ、みなさん一人一人の投票行動で生まれましました。

3年前の参議院選挙で、自民党、公明党、維新などの改憲勢力は、衆議院に続いて参議院でも3分の2の議席を獲得しました。

これに対して、先の参議院選挙では、改憲勢力は3分の2の議席を割り込み、自民党も過半数を割り込みました。

これはみなさん一人一人の選択の結果です。そして「市民と野党の共闘」が進化した成果です。

### 投票率が上がれば悪政が吹き飛ぶ

先の参議院選挙でも、選挙前にはマスコミの自公勝利の事前予想が振りまかれました。これに嫌気がさしたり、何処に入れても政治や暮らしは変わらないと、投票を棄権した方も多かったのではないのでしょうか？

実際、今回の参議院選挙の投票率は48%で、過去2番目に低いものでした。

でもみなさん。こんなに低い投票率でも、これだけ大きな政治の変化をつくり出せます。これで投票率が10%上がれば選挙結果の激変が起こります。更に

上があれば、「野党連合政権」を実現して悪政を吹き飛ばせます。

安倍政権は決して「一強」などではなく、小選挙区制と低い投票率に支えられているにすぎません。

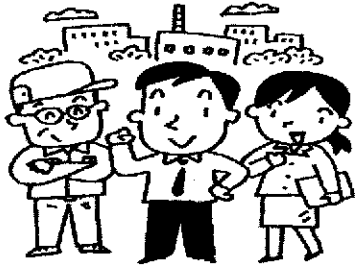
### 「市民と野党の共闘」が政権を変える

憲法を守る、消費税を無くす、沖縄の基地を無くす、原発を廃止する。

日本共産党を含む野党はこれらの政策を共同で実現することを、市民がつくる「市民連合」に約束しています。

日本共産党は、「市民と野党の共闘」のために力をつくし、その発展に貢献してきました。

「市民と野党の共闘」は身近なところで益々大きくなり、参議院選挙後の、埼玉、岩手などの県知事選挙でも、市民と野党が共同で推す首長を続々と誕生させています。この力を一層強くして、来る衆議院選挙を、政権を変える選挙にしていきたいと思います。



### 年金生活

親しい友人と「年金だけではとても生活していけないな」と、いつもボヤいています。80才までは車を手放したくないし、維持費もバカにならないし。財務省の諮問委員会がのたまった2000万円の貯金はとてもとてもないし……

現役時代は子どもの学費とマイホームのローンに追われて、定年後も退職金でローンを完済した時は貯金もほとんどなくて、子ども達の結婚に十分な支援もしてやれなかった。子ども達には大学を卒業するまでは親として支援はするけれど結婚資金は自分たちの責任で貯えるようにと言いついていたので、何と父親として最低限の支援で済ませることができました。

私は近年、幸いに大きな病気もしないで月に1回の検査と投薬を受けています。一割負担なので今は助かっていますが、政府は二割負担にする改悪を企んでいるようです。

先日、年金振込通知が届きました。開いてびっくり、まだまだダウンです。社会保険料と所得税、住民税で合計5万円の天引きです。年6回支給ですから、1年間で30万円の天引きとなり、率にして13%の割合です。

私の周囲ではシルバー人材に登録をしている人達がいいますが、ボランティア精神が優先されているので報酬はほとんど期待できないようです。約45年間まじめに厚生年金に加入して、払い込みをしてきた結果がこのありさまです。

息子達は言っています「年金の支給を受けられるだけマシやでー、俺たちの時は期待できないやるな」と。

福祉制度の充実のために消費税を3回も増税して国民を騙し、1000年安心の年金制度と言つて国民を騙し、こんな政府がいつまで続くんやろ！？



「展望」へのご投稿ありがとうございます。今回寄せられた投稿で紙面量の都合で掲載できなかった分はホームページに掲載させていただきます。ぜひご覧下さい。投稿、紙面の感想やご意見もメールでお寄せ下さい。秘密は厳守します。

